

市長定例記者会見報告事項概要

令和4年12月28日(水) 午前10時00分～

1. 令和4年を振り返って

- 今年は、2月のロシアのウクライナ侵攻をはじめ、円安、物価高、そして新型コロナウイルス感染症の感染者数が増減を繰り返すなど、いろいろと「変動」があった年だった。
- その変動の中で、新庁舎の建設が始まり、「始動」した年でもあった。
- 私自身も、6月21日から市長2期目が始動したところである。
- そうした中で、コロナ禍ではあったが、夏には防府おどりを3年ぶりに開催し、また防府天満宮の花火大会やふるさと思い出花火があり、11月には裸坊祭も3年ぶりに開催され、市民の皆様が躍動した一年だった。
- 今年1月の「トルメンタ」で有名になった高川学園高校の全国高校サッカーのベスト4に始まり、1年を通じて子供たちが頑張った年だった。
- 国体では、高川学園高校の先村選手が陸上少年女子100メートルで優勝された。
- 先日の全国中学校駅伝大会で国府中学校が4位、高川学園中学校が16位と頑張ってくれた。
- 吹奏楽では、全国コンクールにおいて、松崎小学校が日本一となる文部科学大臣賞、華城小学校、桑山中学校が銀賞、防府西高等学校が金賞、そして福島県教育長賞を受賞するという、大変うれしい結果となった。
- 12月25日から行われた全日本アンサンブルコンテスト山口県大会で、小学生、中学生、高校生が頑張ってくれた。中学校、高校の部で中国大会に出場する。

- この年末年始においても、全国高校サッカーで、高川学園が男女とも、春高バレーでは、男子は高川学園、女子は誠英高校が出場を決めている。
- その他にも、ミニバスケットで、男子は佐波小学校、女子は松崎小学校が、野球では、市内中学校の選抜チームである、防府クラブが2年連続の全国大会出場を決めている。
- 本当に子どもたちの活躍に、私自身感動した一年だった。
- 全体をとおして、防府のまちが前進し、さらに元気になったと考えている。

2. 「防府市出産・子育て応援事業」について

- 防府市出産・子育て応援事業は、新年1月からスタートする、新たな事業である。
- この事業は、安心して出産・子育てができるよう、「伴走型相談支援」として、妊娠届出時からすべての妊婦さんや子育て家庭に寄り添い、身近な相談に応じ、必要な支援等につないでいくとともに、12月補正で措置した、国の「出産・子育て応援給付金」を活用し、妊娠時に5万円、出産時に5万円の「応援ギフト」として、クーポン券を配布し、出産・子育てをセットで支援するものである。
- この取組によって、安心して出産・子育てをしていただき、子育て環境を充実していただきたい。
- 防府の未来を担う、すべての子どもたちが、希望に満ちたスタートを切れるよう、全力で応援していきたいと考えている。

3. 「新入学児童への通学用かばん贈呈式の開催」について

- 本市では、子ども・子育て支援「ほうふっ子応援パッケージ」の切れ目ない支援の一環として、来年度小学校へ入学する新1年生に本市独自の安全・安心な通学用かばんを贈ることとしている。
- 贈呈式は、市内で仮入学が最初に行われる松崎小学校で、1月19日(木)に行いたいと考えている。
- その後、各小学校の仮入学で、新1年生に通学用かばんを順次贈呈する。
- 4月から入学する子ども達みんなが、このかばんを背負って通学する姿を楽しみにしている。

4. 「令和4年度防府市二十歳のつどい」について

- 1月8日(日)に、三友サルビアホールを会場に「令和4年度防府市二十歳のつどい」を開催する。
- 今年4月から成年年齢が18歳に引き下げられ、初めての式典開催となる。
- このため、名称をこれまでの「成人式」から「二十歳のつどい」に変更し、二十歳という人生の節目に、改めて御家族や友人、ふるさとに思いを馳せるとともに、社会の一翼を担う自覚と責任を持つきっかけとしてほしい。
- 今回のテーマは、「あつまれ防府っ子！～二十歳のつどい～」である。
- 進学や就職などで、離れて暮らす同級生に呼び掛け、こぞって参加してほしいという思いが込められている。
- 式典では、応募者121名の中から選ばれた3名が「二十歳の思い」を発表するほか、アトラクションとして、防府の特産品等が当たる抽選会も用意している。

- 式典の様子は、オンラインで配信する。

5. 「マイナンバーカードの申請」について

- マイナポイント第2弾の対象となる、マイナンバーカードの申請期限が「令和4年12月末」から「令和5年2月末」まで、2カ月間延長されることとなった。
- これは、先週20日（火）に国から通知があったものである。
- 本市では、目標としていた申請率75%を、11月末で既にクリアしており、先週末で78.55%となっている。
- 引き続き、商業施設での出張申請など、これまでの体制を継続し、マイナンバーカードの普及に努めてまいりたい。

6. 「年末年始の医療体制」について

- 年末年始は、休日診療所の人員を増員し、新型コロナウイルス感染症等の検査体制も拡充して対応する。
- 帰省等で人と交流する機会が多くなるが、市民の皆さまには、引き続き、マスク・換気・手洗いなど基本的な感染対策のご協力をお願いしたい。

7. その他

- 今年の干支は虎だった。「虎は千里往って千里還る」という。スピード感を持って進めてきたまちづくりを、皆さんの力でさらに加速させることができた一年だった。
- 来年の干支はうさぎである。うさぎのように、昼寝をしないで、どんな困難があっても、坂道を駆け上がるように、市民の皆さんと全力で走り

抜ける年にしたい。